

第8回 加古川中流部河川整備推進協議会 議事概要

1. 開催日時：令和5年11月27日（月）16:00～17:45

2. 場 所：加東市役所 2階 201会議室

3. 協議会出席者

国土交通省 近畿地方整備局 河川部長

国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所長

兵庫県 土木部長

兵庫県 北播磨県民局 加東土木事務所長

西脇市長

加東市長

4. 議事概要

- ・国、兵庫県、西脇市、加東市の令和5年度までのハード、ソフト対策の進捗状況と課題への対応について各機関より資料に基づき報告、説明を行った。
- ・その後、以下のとおり、意見交換を実施した。

（兵庫県）

- ・杉原川の沖田井堰、和田井堰を改築した。加古川本川の河道掘削にも取り組んでいく。
- ・各市町での避難指示等の判断に必要な情報等について意見交換もしたい。
- ・加古川では特定都市河川指定に向けてのロードマップが令和5年8月に示された。特定都市河川（法）と総合治水（条例）については、流出係数や開発に関する規制面積の違い等がある。そういった違いにどうやって対処していくのか、また特定都市河川の指定に伴い増大する貯留施設の審査などの事務処理について、何か良い対処方法があれば、ご教示頂きたい。
- ・水の学習会や避難訓練、内水ポンプやマイタイムライン、ホットラインなど、あらゆる手段で安全性を高めるという文化が段々出来てきたのは素晴らしいことだと思う。このような場でお互いに情報を共有しながら国、県、市が一体となって地域の治水安全度を一緒に高めていきたい。

(近畿地方整備局)

- ・近畿では、大和川で特定都市河川を先行的に取り組んでいる。お互いに情報を共有し、従前進められている総合治水との差分も含めてご理解を頂きながら検討を進めていく事が重要と考えているので、宜しくお願いします。

(西脇市)

- ・水害サミットにおいて、国・県・市が連携した取り組みとして本協議会の活動についても紹介し、地域住民との取り組みや民間企業との連携について報告させて頂いた。また、水害サミットに参加していた他市町から、田んぼダムについて新しいやり方があるなど、色々な提案もされていた。森林の整備によって水害を減らそうという動きも発表されていましたので、農水省さんのところにも絡んでくるものと思う。最近のトレンドを教えてください。

(近畿地方整備局)

- ・田んぼダムに関しては農林水産省が主導した手引きの方がございます。手引きの中には様々な取り組み方法が紹介されています。田んぼダムについても、流域治水の枠組みの中で情報共有しながらやっていければと思っています。
- ・田んぼダムは、平地、山から出てくるようなところ、エリア等で効果が変わってくる。色々研究されており、ノウハウも様々あるので、紹介していきたい。

(加東市)

- ・とても順調に整備が進んでいること、堤防を階段状にして頂いて、催事などに使わせて頂けることは、加東市として非常にありがたい。来年度・再来年度と工事をこのまま順調に続けて頂くため、物価上昇を加味した予算の確保についてお願いしたい。
- ・直轄工事をして頂いている区間から上流について、いつ、どの様な感じになるかということ、早めにアナウンスしておくのが、地元の今後の開発・発展の大きな要素になるので、確定した計画ではなくてもいいので周知して頂きたい。
- ・特定都市河川制度については、流域内の市町がバラバラではなく一緒になってやっていくべきと思っている。ただ具体的にどうしていくかは、またご指導頂きたい。

(近畿地方整備局)

- ・加古川改修促進期成同盟会で、実際に被災し、その後の対策でどの様な効果があったのか、実績をもって東京（本省）へ伝えていただくなど、色々と活動して頂くことが予算獲得につながっていくと考えております。
丁寧にご要望・ご意見を伺いながら工事を進めていきたいと思っておりますので、宜しくお願いします。
- ・特定都市河川に指定されたら、こんなにメリットがあるというのは、全国一緒ですので、しっかりと分かりやすくということ、本省に伝えてまいります。
- ・ご指摘頂いている地区（多井田地区）は河川整備計画の中で改修の位置づけがあり、事業がいつ頃どのように実施されていくのかという関心が、下流の進捗が進めば進むほど出てくると思います。事業の見通しについての説明の必要性をご指摘頂きましたので、地元の住民の方々へどのようにご理解を頂き、進めていくのか、しっかりと連携・調整して進めていきたいと考えております。

－ 以上 －